

「働く女性応援よくばりハンドブック」の改訂に係る基本的な考え方について

1 趣旨

県が発行する「働く女性応援よくばりハンドブック」（以下「ハンドブック」という。）について、SNS 上で議論となったことを契機として、幅広い視点で意見を聴きながら、社会経済情勢の変化や、個人のライフスタイル・価値観の多様化などを踏まえた内容の見直しを行い、改訂する。

【参考：ハンドブックの発行について】

- ・目的 女性が仕事と家庭を両立して生き生きと働き続けられるよう、雇用制度や健康づくりなどの知識や情報を集約したハンドブックを作成し、働く女性やこれから働きたい女性への普及と活用を図る。
- ・作成 平成 26 年度。以後、法制度改正に伴い 3 回改訂。直近は令和 2 年 2 月
- ・印刷部数 延べ 4 万部
- ・配布方法 要望のあった企業を通じた女性従業員への配布。県主催の女性従業員向け研修等での配布。再就職支援事業（わーくわくママサポートコーナー）での配布 など

※タイトルの「よくばり」について

仕事と暮らしのバランスを考えると、暮らしを犠牲にする働き方や、仕事をセーブして家事の時間を確保するなど、どちらかを優先して妥協しなければならないのではと思われるがちであるが、多くの県民にとって、仕事と暮らしはいずれも人生の重要な要素であり、どちらもあきらめず追及することができる社会の実現が求められている。

広島県では、「ひろしま未来チャレンジビジョン（平成 27 年度改訂）」及び「安心▷誇り▷挑戦ひろしまビジョン（令和 2 年度策定）」において、県民誰もが、仕事や暮らしに対して抱く希望をどちらもあきらめることなく、「叶えられる」と感じることでできる社会をつくりだすことを目指す姿とし、この理念を表現する言葉として、「仕事も暮らしも。欲張りなライフスタイルの実現」というフレーズを用いている。

ハンドブックのタイトルは、このビジョンのフレーズをもとに、働く女性においても、仕事も暮らしも両方とも自らの望む姿を叶えられることを応援するという趣旨で、平成 27 年度から使用している。

2 現行版に対する SNS 等での主な意見

○ タイトルの「よくばり」について

- ・女性が仕事と家庭を両立することを「よくばり」と表現するのは不適切
- ・子育てしながら働くことは女性のわがまま、よくばりなことなのか
- ・現在は、女性が働くことは当たり前のことで、特別なことではない など

○ 「ワーキングママ」の心構え（26 頁）

- ・「パパ」が子育ての当事者ではなく、周囲の人として描かれている
- ・「パパ」の「こっちだって・・・我慢している」や「多少は手伝っている」という表現は女性が家事・育児をするという古い固定観念を前提としている

- ・女性の側に、周囲への感謝や配慮などを求めているが、周囲の価値観や考えを変える方向にすべき
- ・周りに気を遣いながら肩身の狭い思いをして働いている女性への配慮に欠ける など

○ その他

- ・働く女性を対象としているのに、子育て中に関する情報しかない
- ・表現には問題があるが、内容自体は必要な情報がまとまっている など

3 現行版における課題

- 社会経済情勢の変化等により、働く女性のあり方も多様化している中、掲載する制度や情報は、妊娠・出産・育児に関するものが中心となっている。
- 「ワーキングママの心構え」など、一部に家事・育児は女性が行うものであるというジェンダーバイアスを追認してしまう内容や、働く女性のおかれる状況への配慮に欠ける表現がある。
- タイトルの「働く女性」と「よくばり」のワードの組み合わせについて、違和感の声が寄せられている。

4 改訂の基本的な考え方

- 働く女性の多様な姿に対応できるよう、掲載する情報を充実させる。
- 仕事と家庭の両立は、男性・女性に限らず働く人の共通の課題であるとともに、企業・社会における課題という認識のもと、様々なジェンダーバイアスにも留意して、記述内容や表現・デザイン等を見直す。
- タイトルについては、本県ビジョンの理念を表すフレーズである「仕事も暮らしも。欲張りなライフスタイルの実現」の趣旨が伝わる表現方法を検討する。

5 改訂の方向性

(1) ハンドブックの目的（再整理）

女性が、それぞれのライフスタイルに応じて安心して働き、自分らしくその力を発揮できるように、雇用制度や健康づくりなどの知識や情報を集約したハンドブックを作成し、働く女性やこれから働きたい女性への普及と活用を図る。

(2) 改訂作業の進め方

有識者等意見聴取会議のほか、県内の働く女性などの当事者、そのほか幅広い意見を聴取しながら、改訂内容を整理する。改訂案については、県民アンケートも実施する。

(3) 構成案

ハンドブックの構成については、現行版を踏襲しつつ、働く女性に共通する課題（キャリア形成や健康に関する事項等）を追加するほか、様々なライフイベントに応じた支援等の情報の追加や、男性の育児参画に関する情報の拡充などを行う。

I	<p>知っておきたい働く上での基礎知識</p> <p>○労働基準法，労働契約法など働く上で必要な法制度の知識・情報【拡充】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・労働条件，労働時間や時間外労働の割増賃金，年次有給休暇や特別休暇，パートタイム労働者等に係る制度，ハラスメントの防止 など
II	<p>キャリアプランを考える</p> <p>○キャリアプランに係る情報【追加】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャリアプランを考える意義や手順，県内で働く女性の事例など <p>○女性活躍推進法の紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法の趣旨や意義，県の取組など <p>○知っておきたい女性の健康に関する情報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月経困難症，更年期障害，妊娠・出産，不妊などに関する知識や，利用できる制度・相談窓口に関する情報 など
III	<p>ライフイベントに応じた支援制度</p> <p>○妊娠・出産期に係る情報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・妊娠・出産期の心身変化，不利益取扱の禁止や，利用できる制度，マタニティ・ハラスメント など <p>○育児期に係る情報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て世代が利用できる各種制度等の情報（育児休業，給付金，短時間勤務等の復職後利用できる制度，保育所，学童保育に係る情報 など） ・男性育児休業の促進（改正育児・介護休業法，育休取得男性の声など）【拡充】 <p>○介護に係る情報【追加】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族の介護が必要となった時に利用できる制度等の情報（介護休業制度，利用できる介護サービス，地域包括支援センターなど） <p>○離職に係る情報【追加】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・離職時の手続きや求職者給付等の制度の情報 <p>○事業主に向けて【追加】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・働きやすい職場づくりの意義やメリット，「Hint！ひろしま」の紹介
IV	<p>これから働きたい女性へ</p> <p>○再就職を希望する女性への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マザーズハローワーク・わーくわくママサポートコーナーの紹介 など
VI	<p>相談窓口の紹介</p> <p>○各種相談窓口の紹介【拡充】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・労働相談，ハローワーク・マザーズハローワーク，ひろしましごと館，保育・介護の相談先など

6 改訂時期

令和4年7月を目途に、改訂版を取りまとめる。

(スケジュール)

	2月	3月	4月	5月	6月	7月
有識者等 意見聴取	● 第1回			● 第2回		
改訂版作成	→ 方向性整理	→ 改訂案作成	→	→ 改訂案修正	→ 印刷	● 公表
幅広い意見 聴取・アンケート		随 時	実 施	→		